

遊休不動産の現状と課題(補足)

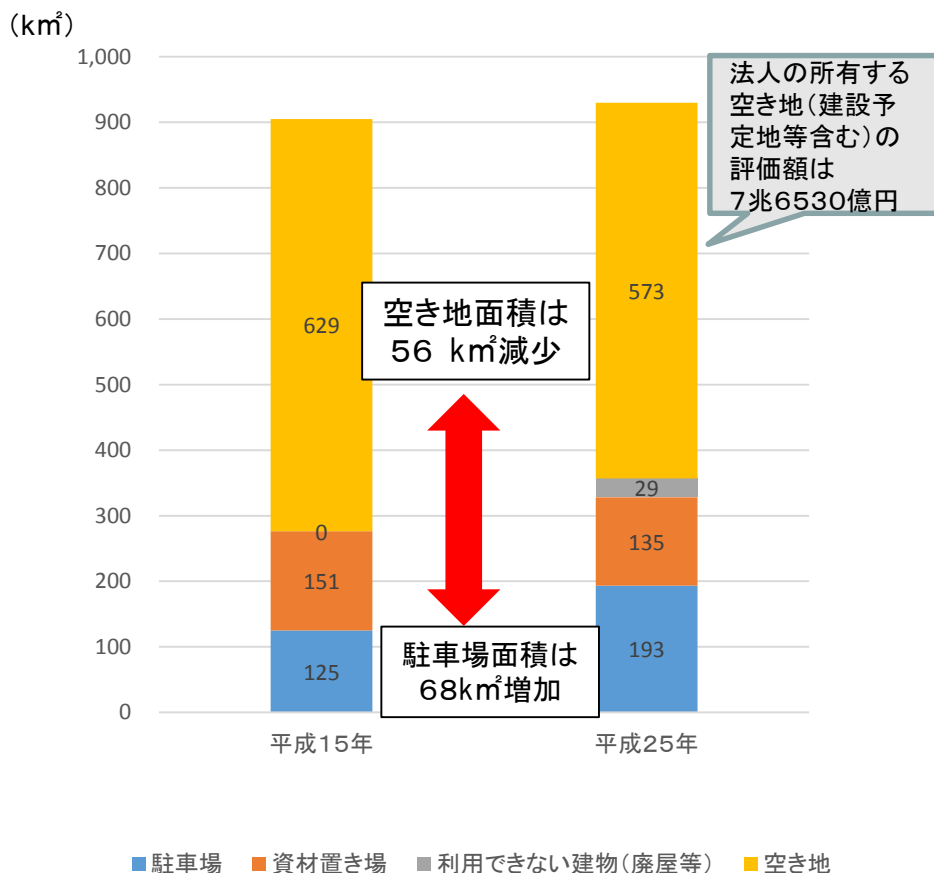
平成28年5月24日

土地・建設産業局

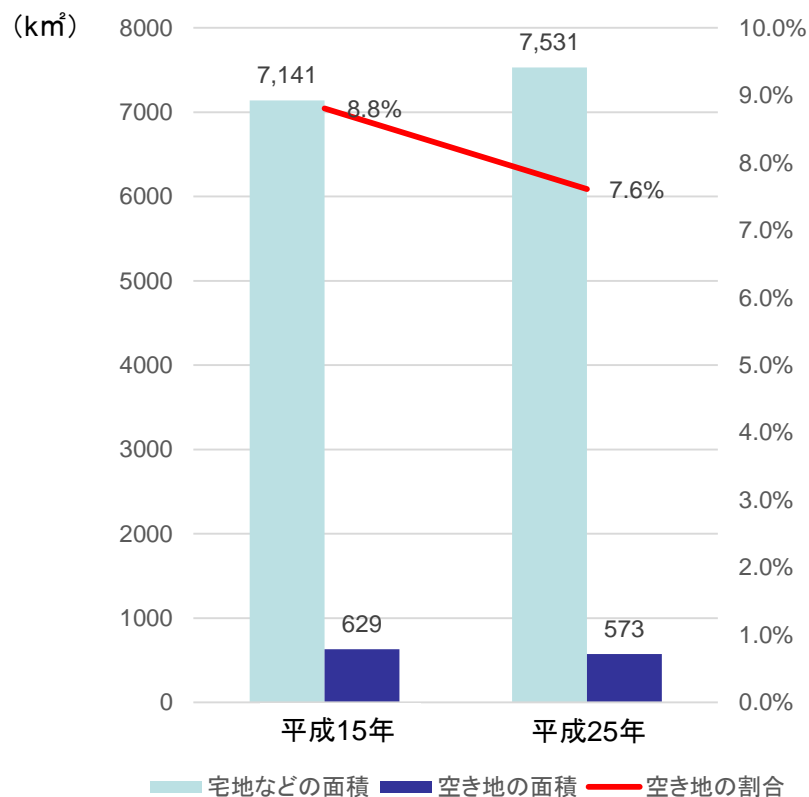
法人が所有する空き地の減少について

○ 法人の所有する土地のうち、空き地面積は10年間で56km²減少する反面、駐車場の面積は68km²増加。

図 法人の所有する土地利用の変化



(参考) 法人の所有する宅地の推移



※空き地とは、特に利用していない土地で、未着工の建設予定地を含む

- 世帯の所有する土地のうち、駐車場面積は10年間で38km²増加する一方で、空き地は300km²増加。
- 世帯の所有する空き地について、平成15年と平成25年の状況を比較すると、相続・贈与で取得した空き地が大きく増加しており、平成に入って取得された空き地の増加が主な増加要因となっている。

図 世帯の所有する土地利用の変化

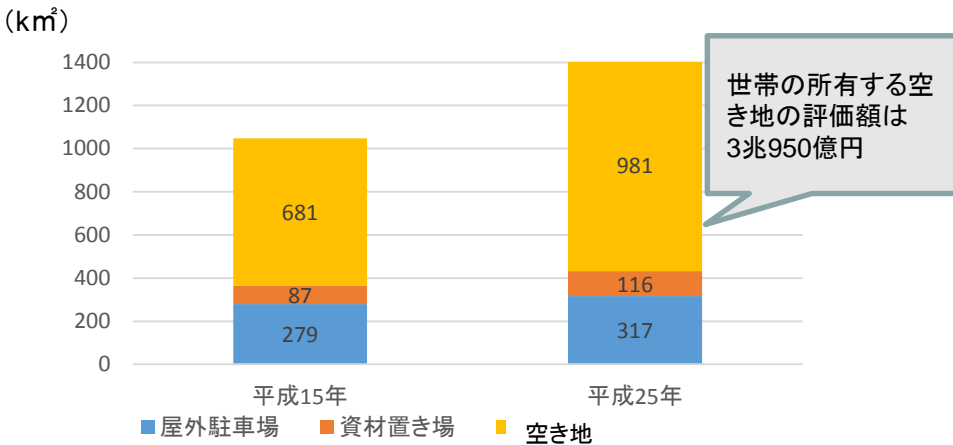


表 世帯の所有する空き地の取得方法

表中の単位はkm²

取得方法	平成25年 時面積	平成15年 時面積	増加率
国・都道府県・市区町村から購入	22	25	-12%
会社・都市再生機構・公社などの法人から購入	48	69	-31%
個人から購入	172	160	8%
相続・贈与で取得	701	394	78%
その他	29	24	20%
不詳	10	9	1%
総数	981	681	44%

(参考) 世帯の所有する宅地の推移

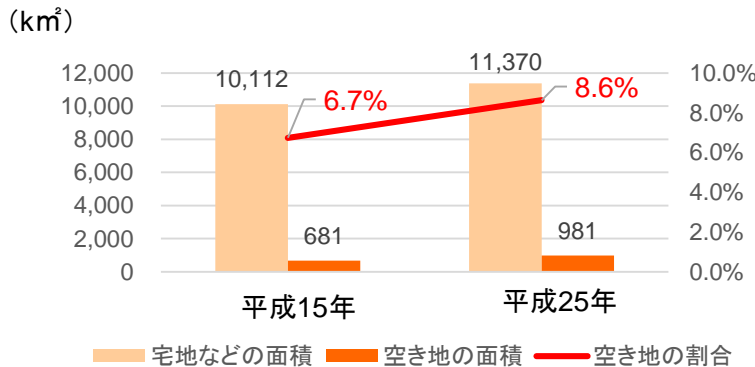


表 世帯の所有する空き地の取得時期

表中の単位はkm²

土地取得時期	平成25年 時面積	平成15年 時面積	面積の増減
昭和25年以前	133	127	6
昭和26～45年	100	110	-11
昭和46～55年	136	121	14
昭和56～平成2年	139	137	2
平成3～12年	154	184※	182
平成13～22年	211		
平成23～25年	97	0	97
不詳	10	1	9
総数	981	681	300

※空き地とは、特に利用していない土地で原野、荒れ地、池沼などを含む

※: 土地取得時期は「平成3～15年」